

薬草教室だより

令和3年12月14日発行 第3号

東京都薬用植物園 〒187-0033 東京都小平市中島町21-1 TEL042(341)0344

# 庭木の手入れ

株式会社 山水園

田中 克佳

# 庭木の手入れ

(株)山水園 田中克佳

## 1. 庭木の手入れ（剪定）方法・・・【年1回の剪定でOK】

一般家庭で無理なくできるお手入れ方法

### 1. 庭木の手入れ（剪定）とは

#### (1) 何をするか・・・

基本的に剪定作業を指します。剪定とは庭木を切って形を整え、風通しをよくする作業のこと。見た目をキレイにして養分の巡りをよくし、病虫害の発生を防ぐ効果がある。

#### (2) 剪定以外に必要な作業は・・・

落葉樹は冬に1回、常緑樹は5月下旬～6月に1回の剪定作業だけで充分。

#### (3) 果樹（実のなる木）の場合は・・・

年1回の剪定と実の収穫だけでいい。美味しい果実の収穫を望むなら必要な作業は多い。しかし自宅消費であれば実りは自然に任せる。

#### (4) 剪定しないとどうなるか・・・

全く手入れをしないと、樹高がどんどん高くなって自力での剪定は難しくなる。専門業者に依頼すると高木剪定は高額。放っておくと枝葉や実が敷地外に落ち、近隣とのトラブルの原因になりかねない。

## 2. 庭木の剪定時期

### (1) 落葉樹の場合（梅・柿・ブドウなど落葉性果樹含む）

落葉樹は12～2月、庭木が休眠している落葉期間中に剪定。この時期なら「強剪定」をしても木に負担がかかりにくい。気温の高い時期に剪定すると、枝葉が少なくなり蒸散量が減って、熱中症のようになり幹焼けなどで庭木が弱る。夏場の剪定は避ける。

### (2) 常緑樹の場合（ビワ・レモンなど常緑性果樹含む）

常緑樹は5月下旬～6月、新芽が出て新葉が落ち着いた時期に剪定。落葉樹同様、気温の高い夏場（7～9月中旬まで）の剪定は避ける。年2回剪定できれば、秋にも夏に伸びた分を軽めに剪定。

### (3) どうして落葉樹と常緑樹で剪定時期がちがうのか・・・

落葉樹は冬、常緑樹は梅雨前に剪定作業を行う。落葉樹を冬に剪定するのは、葉が落ちて樹形が見やすく、休眠期で切り口から病原菌（腐朽菌）が入りにくいから。

常緑樹の剪定適期は5月下旬～6月の梅雨前。常緑樹は毎年5月頃、新芽を出して古い葉を落と

す「葉の入れ替え」が5月下旬頃までに終わるので、5月下旬～6月の梅雨前に剪定。

#### ※剪定作業時の注意事項

作業時は動きやすい服装で行うようにしましょう。手には作業用手袋をつけるのがおすすめです。脚立に乗って作業する場合は安全に特に注意してください。脚立を置く場所が安定しているか充分確認し、万が一の場合に備えてヘルメットで頭部を保護するようにしてください。

高枝切りハサミを使用する際は、枝が落ちる場所に人がいないかを確認してください。

感電の恐れがあるので電線の近くでは使用しないようにしましょう。

暑い時期であれば熱中症対策も必要。ひっかき傷などを作らないよう長袖を着る。

#### ※剪定する時に必要な道具

剪定バサミ、剪定ノコギリ、高枝切りハサミといったものに加え、作業用手袋、ほうき、大きめのチリ取り、ブルーシート（レジャーシートでも可）、ゴミ入れなど。

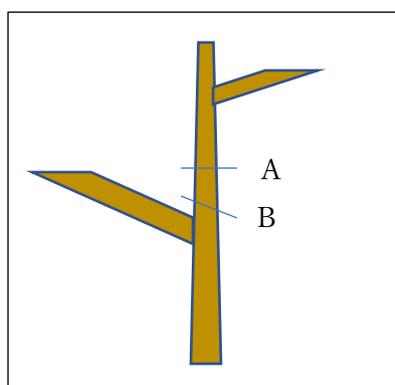
高めの枝を切る際に脚立を使う場合は、頭部を護るヘルメットを被りましょう。

#### ※樹高の下げ方

樹高を下げる場合は思い切って太い枝も剪定。しかし枝を切る位置は注意。

もし誤った位置で剪定すると却って切り口からたくさんの枝が発生。

枝が出ているすぐ上（図 A）で切るようにすれば、その枝に栄養が集中するので無駄な枝が伸びてこない。一方、枝から離れたところ（図 B）切ると、栄養が分散して切り口からたくさんの枝が伸びてしまう。



※地際からたくさんの枝（ひこばえ）が出ていたら切った方がいいか・・・

「ひこばえ」が出ている場合は、なんらかの理由で弱っている可能性があります。見苦しくない程度に残すのが庭木にとってはいいが、切る場合は一度に全てを切り落とさず、肥料や水やりをしながら樹勢を回復させつつ、時間を掛けて徐々に剪定することが理想。

#### ※花木の剪定で注意すること。

切り方については普通の庭木と同じ。注意が必要なポイントは剪定時期。

花をたくさん咲かせたい場合は花が散ってから1～2か月の間にすませる。。

一方、単純に樹形を整えばよい場合は常緑樹・落葉樹のタイミングと同じでいい。ただし7～9月中旬の気温の高い時期は木が弱ってしまうので、剪定を避けること。

- ・花をたくさん咲かせたい場合

花木の種類によって異なりますが、多くの花木は花が散った2～3か月後には来年の花芽を付け始めます。もし樹全体に花を咲かせたい場合は、来年の花芽がつく前、今年の花が散ってから1～2か月の間に剪定をすませるのがよい。ただし花木の種類によってかなり違いがあるので、詳しく知りたい場合はその花木の専門書を読むことをおすすめします。

- ・樹形を整えばよい場合

単純に樹形を整えたい場合、落葉樹は冬、常緑樹は5月下旬～6月に剪定すれば問題ない。基本的に花芽は枝先につくので、剪定すると既についている来年の花芽ごと切り落とすことになる。残す枝、残さない枝を意識して剪定する。

「剪定のコツ」「土づくり」「病害虫」については、スライドで説明